

収容施設はもういらないと思うまで

加藤 孝

発売中



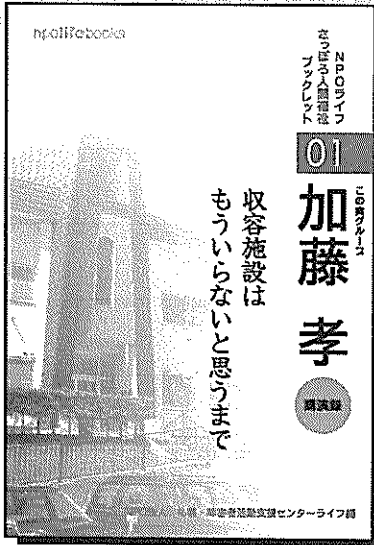
私たちは、障害を特別なことと考えてきたことはない。しかし、障害をもつ人々が地域から排除され差別されてきた現実があるからこそ、障害がある人もない人も地域で、共に生き、共に働く場を創ろうと活動してきた。

「施設福祉」「地域福祉」「社会福祉」という言葉だけが氾濫し、障害のもつ人を特別な存在として位置づけている今の社会に、私たちは同意できない。

私たちは、一人ひとりの違いを尊重し、差別のない社会を創るために活動してきた。そして今、あえて「福祉」を考えてみることにした。人間関係において「違い」をなくすことと同時にその「違い」を尊重することが重要なことだと気づいた。

本来「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりきっている」という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、ここに「さっぽろ人間福祉ブックレット」を発行する。

2008年8月
NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ 編集部



■A5版/72ページ
 ■定 価/840円(本体価格800円)
 ■発 行/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOM01F
 TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

■内 容/講演録「差別なく生きやすさを求めた10年、そして共働・共生を目指す10年」
 年表、新聞コラム抄録・雑誌寄稿

■送 料/1冊 210円/2冊 310円/3冊 400円/4冊以上無料

◇お申し込みは… (FAXまたはメールで)

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
 共働事業所もじや
 〒063-0812
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOM01F
 TEL 011-644-5533
FAX 011-613-9323
 e-mail/mojiya@adagio.ocn.ne.jp
 郵便振替口座 02710-4-63485
 口座名義 NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

申 込 書

NPOライフ さっぽろ人間福祉ブックレット [01]
 「収容施設はもういらないと思うまで—加藤孝」を 冊 注文します。

お名前 _____ TEL _____

ご住所 _____ FAX _____

_____ e-mail _____

お届け先 (上記住所と異なる場合) _____

※代金は同封された郵便振替用紙にてお振り込み下さい。

書評

収容施設はいらない

滋賀県 ねっこ共働作業所 白杉 滋朗さん

先月、ライフから発行した「さっぽろ人間福祉ブックレット」の、第一弾であるこの実グループ加藤孝さん『収容施設はもういらないと思うまで』についての推薦文が、滋賀県にある「ねっこ共働作業所」の白杉滋朗さんより届きましたので、ここに紹介させていただきます。

親は最大の理解者であると同時に、最大の差別者であると考えていた。

入所施設に我が子を放り込んだ親はまさしくその後者であろうと考えていた。札幌市の札幌この実会の加藤孝氏の話聞くまでは…。入所施設をあえて収容施設と呼び、「収容施設はいらない」と叫ぶ彼は俠気真っ当の人である。彼を評して「反骨の人」と呼ぶ向きもあるが、真っ当な人に反骨のラベルを貼る社会こそねじれているというべきだ。布団を4組敷き詰めると畳が見えなくなる部屋は、安らぎを保障する部屋とは言い難い。

以前、廃止した児童の入所施設に泊めてもらったことがあった。私の膝より低い位置の洗面台。顔を洗うには、もはや座するしかないのだが、窓から見える滑り台などの遊具を見て、この洗面台を立位で使用したこどもたちに思いをさせ涙がこぼれ立ち上がることができなかった。全日本育成会の全国大会で札幌を訪れ、誘われて見学させていただいた「手稲この実寮」は、この記憶を十分に思い出させる収容施設であったのだ。

俠気真っ当の加藤は語る。「**育成会の**会長さんがねえ、こどもをこの実に送っての帰り道、山道を車運転しながら涙がこぼれてこぼれてしょうがなかったんだよ」「収容施設は親を泣かせる、そんなところだったんだね、そんな施設はいらないって思ったんだよ」

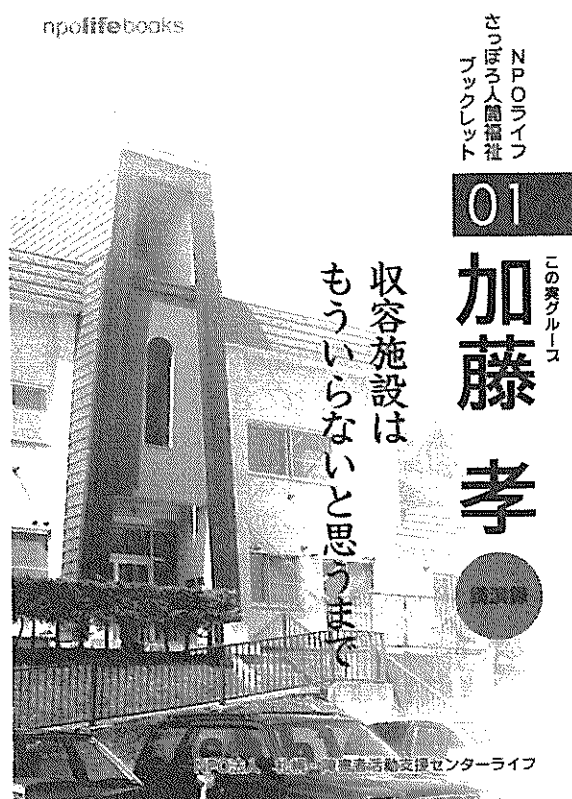
誰よりも施設はいらないと考えているのは当の障害者であり、その親に違いないのである。それが分かって、しかし施設解体に移る人や法人は少なく、その行動は反骨と敬称を与えられる。札幌・手稲この実寮の取り組みは25年を経て漸く50人規模の施設を解体した。地域移行が叫ば

れる障害者自立支援法の下、はたして反骨の人でなくとも地域移行の担い手となりうるのか？少なくとも我々は真っ当な俠気を持ち合わせたい。

共同連（差別とたたかう共同体全国連合）の仲間であり、俠気を持ち合わせた札幌ライフの面々が加藤孝と「この実会」の実践をブックレットにまとめた。加藤は語る「共生きということは、共死にするとということ」「俠気、狂気、凶器の三つを持ち合わせなくっちゃあいけない」

「共に生き、共に働く」派、必見の文献である。

NPOライフ さっぽろ人間福祉ブックレット【01】



定価840円にて絶賛発売中!!